

由利

立教184年 令和3年

7 月 号



第十二回 すみれの会

一ヶ月間の主な歩み

六月

一六日 クリーンデイYURI

一七日 三浦家鎮座祭

一八日 支部長面談

一九日 北蒲原分教会月次祭

二十日 お問い合わせ

二二日 大教会月次祭

二六日 御本部月次祭、由利婦人会

三十日 教区全体会議、教区婦人会、

すみれの会、婦人会例会

七月

二日 支部婦人会

三日 支部例会(上之浜分)

五日 お問い合わせ、十二下り

九日 お問い合わせ

一三日 由利分教会月次祭

今月の言葉

由利分教会長

佐々木 正 明

今月は中臺勘治先生の著書「心の大変革」から一部を紹介させて頂きます。

陽気ぐらし

―欲と争いから、

感謝とたすけ合いへ―

動物界は弱肉強食。だから、強い動物が弱い動物を食べて生き残っていく。同じように、強い人間が弱い人間を支配するのが当然と思う。今時、そんな極端な人は少ない。が、人を馬鹿にする。暴力を振るう。それも同根ではあるまいか。そこには、思いやりがない。人としての心がない。振り返れば、私自身、そんな時もあった。が、お道の信仰に入ってから、心の中は変わってきた。

人間創造の「元の理」の冒頭に、「人間を造り、その陽気ぐらしをす

るのを見て、ともに楽しもうと思いつかれた」とある。

人間は神の子、一列兄弟姉妹。たすけ合う陽気ぐらしを楽しみに創造されたと知る。欲と争いから、感謝とたすけ合いへ。まさに心の大変革。そこに、陽気ぐらしへの道が始まる。お道を信仰する大きな意味があると見えよう。

今、陽気ぐらしをしているか？

自分自身を振り返って、「今、陽気ぐらしをしていますか？」と聞かれると、はなはだ自信がないのである。子供達からも、「お父さん、なに難しい顔をしているの？」と時折言われる。写真を見て、「眉間にしわを寄せたような顔をしている」とも言われる。陽気ぐらしが肝心。陽気ぐらしが最高。

そう思っているのであるが、なかなかないのが陽気ぐらしである。しかし、なれなくても良いと思う。陽気ぐらしが人間の目的だ、という

ことを信じているだけでも大いに幸せだと思う。

人間関係でイライラした時、恥をかいてクヨクヨした時、失敗してガッカリした時、陽気ぐらしの言葉を思い起こすだけで、心がスーッとしてくる。腹が立った時、恨み心がわいて来た時、心が引つ掛からない。だから、深みにはまっていけない。これが実に有難いと思う。誰でも癖性分というものがある。だから陽気ぐらしが肝心と言っても一朝一夕にはいかない。それでも良いと思う。人間が生まれた目的は、陽気ぐらし。この人間が生まれた目的がわかると、自分の反省だけではない。人や世の中をどう見るか？物事を見る目が出てくる。ここがまた素晴らしい。いくら頭が良くても、力があっても、お金があっても、陽気ぐらしのために使われていないならば、つまらないものと思えてくる。いくら科学が発達しても、生活が豊かになっても、それが陽気ぐらしに添って



六月十七日午後七時から三浦芳和さん宅に新たに神様をお祀りさせて頂きました。三浦家の御家族の方にも参拝して頂き、めでたい日となりました。

おめでたいございます 三浦芳和家鎮座祭

ないならば、むしろ害になることが多いとわかってくる。まずは、人間は陽気ぐらしをするために生まれてきた。これを心に刻みたい。そんな中から、陽気ぐらしへの第一歩が始まるのだと思う。

秋田教区婦人会

第十二回 すみれの会開催

六月三十日、若い委員長・委員長部長後継者の丹精の場として、第十二回すみれの会を開催しました。福祉厚生部長、佐々木則夫先生に「イライラしない子育てミニ講座」を演を交えて講義頂き、質問タイムでは自身の子育てやおたすけに繋がるようにと、日頃の思いを確認。

その後和やかな雰囲気では己紹介を楽しみました。参加人数十三名、スタッフ他十名、合計二十三名。コロナ渦での制限の下、開催出来た喜びに感謝の一日を過ごしましょう。



創立百二十周年にむけて

由利分教会ホームページ作成!

当教会の創立百二十周年にむけ、この度ホームページを作成させて頂きました。若い方や、遠方に住む方にも、気軽に教会の情報を共有させて頂けたらと思います。

これからの教会の活動等を載せていきますので皆様どうぞご覧ください。

ホームページアドレス
yuribun.daa.jp/index



QRコード↑

神宮講話 小野恭和理事

開扉・献饌の男子の方は**十時**まで、女子の方は、**十時二十分**までおつとめ着を着用し、神殿にご集合下さい。

総計 443枚